

岡山市

第8期高齢者保健福祉計画・

介護保険事業計画

(地域包括ケア計画)

概要版



令和3(2021)年3月

岡山市

1 計画策定にあたって

計画策定の趣旨

岡山市における高齢者人口は、令和2年の約18万9千人（高齢化率26.2%）から、団塊の世代（1947～1949年生まれ）が75歳以上となる令和7（2025）年には約19万5千人（高齢化率27.0%）、団塊ジュニア世代（1971～1974年生まれ）が65歳以上となる令和22（2040）年には約21万9千人（高齢化率31.2%）まで増加する見込みであり、生産年齢人口は長期的に減少し、地域における支え手の減少や介護人材の不足等が危惧されています。

こうした状況を踏まえ、高齢者自身が支え手として生涯現役で活躍できる環境づくりや、健康寿命を延伸するサービスを充実させるとともに、医療・介護が必要な状態となっても、できる限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで安心して続けられるよう、地域ごとに「地域包括ケアシステム」をさらに深化・推進していくことが求められています。

「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」は、令和7（2025）年、令和22（2040）年の双方を見据えた中長期的な視点を持ちながら、岡山の保健医療のめざすべき姿である「PHO*」及び地域の関係者が様々な課題に分野を超えて、包括的に対応する「地域共生社会」の理念も踏まえ、高齢者に関する保健福祉施策を実施していくために策定するものです。

本計画の位置付け

本計画は、岡山市政の基本指針である「岡山市第六次総合計画」を上位計画とし、「地域共生社会推進計画（地域福祉計画）」等の関連計画との整合性を保ちながら策定しています。

計画期間

本計画の計画期間は、令和3（2021）年度から令和5（2023）年度までの3年間です。計画期間の最終年度である令和5（2023）年度中には、市民ニーズや社会動向の変化を把握しながら、第8期計画の取組状況について点検し、必要な見直しを行い、第9期計画を策定します。

コラム：地域包括ケアシステムについて

地域包括ケアシステムとは、高齢者が可能な限り、住み慣れた自宅や地域で人生の最後まで暮らし続けられるよう「医療」「介護」「住まい」「介護予防」「生活支援」の5つのサービスを一体的に受けられる、地域における支援体制のことです。国では、これらの5つのサービスが、利用者のニーズに応じて包括的かつ継続的に、概ね30分で駆けつけられる圏域（日常生活圏域）で提供されることを想定しています。

地域包括ケアシステムは、「自助・互助・共助・公助」の考え方の下、高齢者自身も含め、地域住民やボランティア・NPO、事業者・関係機関、専門多職種など、それぞれの地域の関係者の参加により、地域社会全体で形成していくものとされています。



図 地域包括ケアシステムの構成要素と「自助・互助・共助・公助」

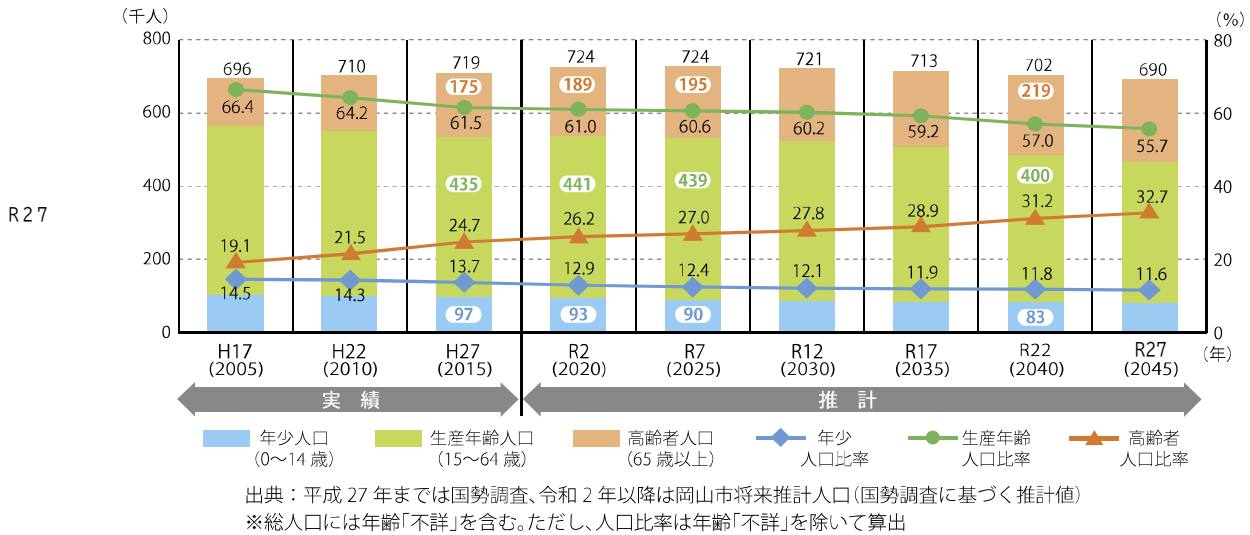
※三菱UFJリサーチ&コンサルティング「<地域包括ケア研究会>地域包括ケアシステムと地域マネジメント」（地域包括ケアシステム構築に向けた制度及びサービスのあり方に関する研究事業）、平成27年度厚生労働省老人保健健康増進等事業、2016年

*PHO：「Positive Health Okayama」の略称。令和元年10月にG20岡山保健大臣会合支援推進協議会会長の岡山市長から宣言された「岡山の保健医療の目指すべき姿」。2030年までに、子どもからお年寄りまで、病気や障害などの有無に関わらず、生きがいを持ち活躍できる社会を実現しようとするもの。実現に向け25のチャレンジに取り組むこととしている。

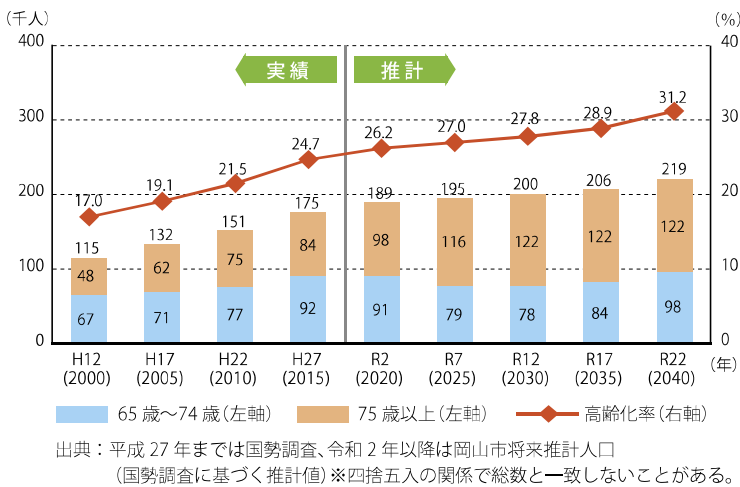
2 岡山市の高齢者を取り巻く現状と課題

岡山市の総人口の動向と長期的な推計人口

- 岡山市の総人口は、令和22（2040）年には約70万2千人となり、平成27年時点の約71万9千人より、約1万7千人減少する見込みです。
- 高齢者人口の増加が続く一方で、介護や看護等の担い手ともなる、年少人口・生産年齢人口は長期的に減少し続ける見込みです。

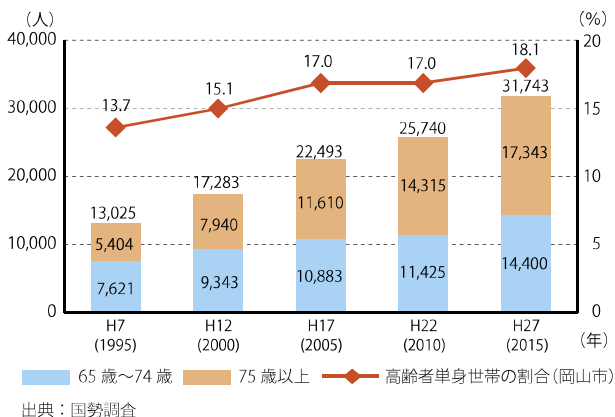


岡山市の高齢者人口の動向と今後の見通し



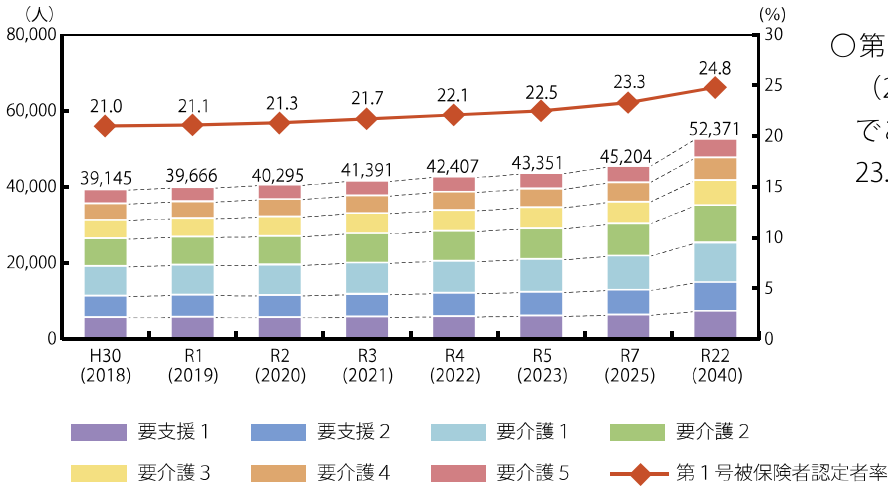
- 高齢者人口は、平成27年の約17万5千人から、令和7（2025）年には約19万5千人となり、高齢化率は、24.7%から27.0%まで上昇する見込みです。
- 75歳以上の後期高齢者は、平成27年で約8万4千人であり、令和2年には65歳から74歳までの前期高齢者を逆転し、令和7（2025）年には約11万6千人と大幅に増加する見込みです。

岡山市の高齢者単身世帯数の推移



- 高齢者単身世帯は、平成27年時点で31,743人であり、高齢者に占める割合は18.1%となっており、平成7年からの20年間で約2.4倍に増加しています。
- 特に、75歳以上の高齢者単身世帯は平成27年に17,343人となり、平成7年からの20年間で約3.2倍に増加しています。

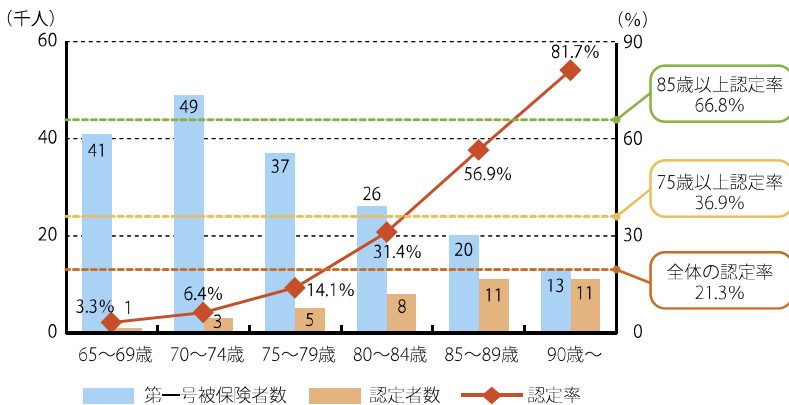
岡山市の要介護（要支援）認定者と第1号被保険者認定率の推移・推計



○第1号被保険者認定率は、令和5（2023）年度に22.5%となる見込みであり、令和7（2025）年度には23.3%となります。

※令和2年度までの要介護認定者数は実績（介護保険事業状況報告各年9月分）、令和3（2021）年度以降は推計。
 要介護（要支援）認定者には第2号被保険者数を含む。
 ※第1号被保険者数は令和2年度までは各年9月末住民基本台帳人口、令和3（2021）年度以降は推計。
 ※第1号被保険者認定率＝認定者のうち第1号被保険者数／第1号被保険者数

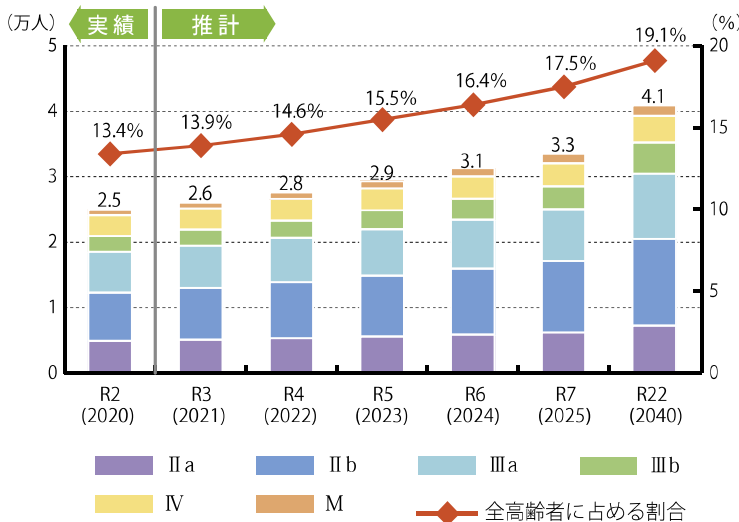
岡山市の年齢階級別の要介護（要支援）認定率



○要介護(要支援)認定率は年齢を重ねるほど高くなります。
 ○「70～74歳」では、6.4%に止まっていますが、「75～79歳」では14.1%、「80～84歳」では31.4%、「85～89歳」では56.9%と大きく上昇していきます。

出典：第1号被保険者数は岡山市統計、認定者数は岡山市介護保険事業状況報告（令和2年9月分）

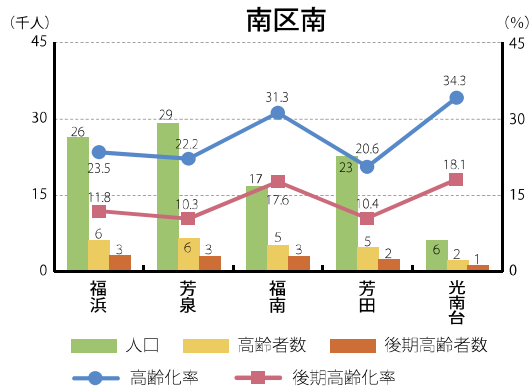
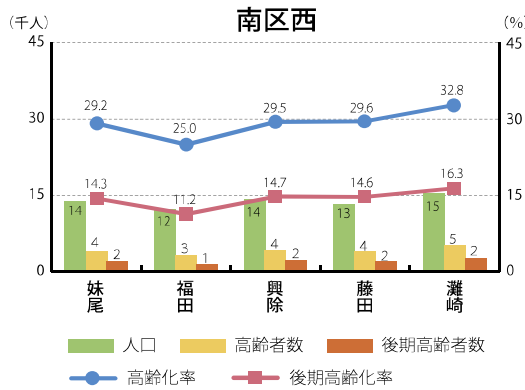
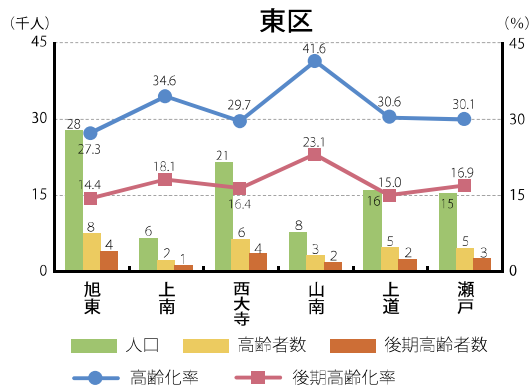
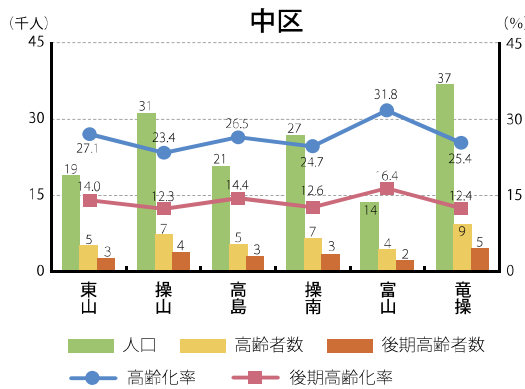
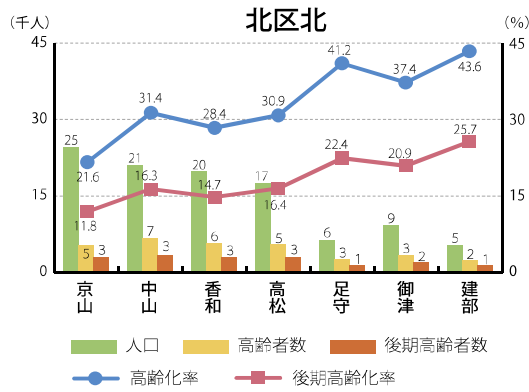
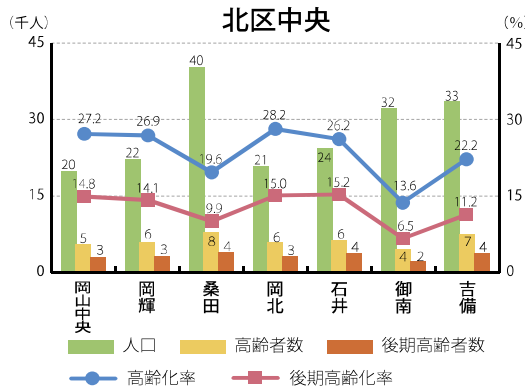
岡山市の認知症高齢者数推計



○認知症高齢者は、令和2年時点で約2.5万人（全高齢者の約13%）であり、令和7（2025）年には約3.3万人（全高齢者の約18%）に達する見込みです。

出典：岡山市介護認定データ（令和2年9月末）をもとに推計

日常生活圏域別の高齢化等の状況

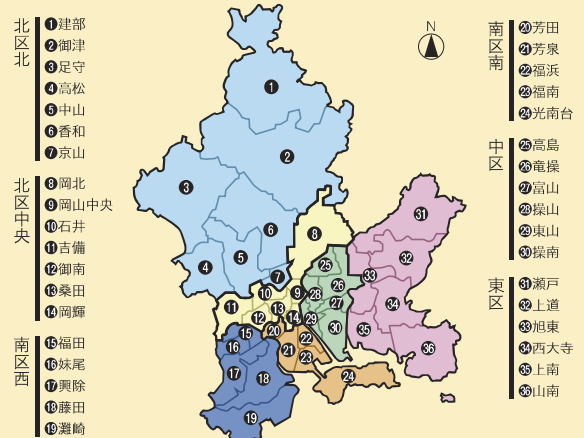


※人口は令和2年9月末住民基本台帳人口

コラム：日常生活圏域

○日常生活圏域は、地理的条件、人口、交通事情、その他の社会的条件、介護給付等対象サービスを提供するための施設整備の状況、その他の条件を総合的に勘案して定めることとされています。岡山市では、中学校区を単位として36の日常生活圏域を設定しています。

○なお、地域包括ケアの推進にあたっては、通いの場の創出や見守り・支え合い活動の促進など、より身近な区域で取り組むべきものもあることから、提供するサービスや取組に応じた区域を設定し、柔軟に地域づくりを進めていく必要があります。



3 基本理念・基本目標・施策展開

高齢者が地域社会で生きがいを持って活躍し、健康寿命の延伸や介護予防にも主体的に取り組み、医療や介護が必要になっても、培ってきた地域や人とのつながりを保ちつつ、自分らしい生活を人生の最後まで安心して続けられるよう、高齢者を含めた多様な主体が支え合う、「健康・福祉」の包括的な支援体制（地域包括ケアシステム）が整ったまちをめざします。

基本理念を実現するため、岡山の保健医療のめざすべき姿である「PHO」を踏まえ、地域に関わる人や組織が目標を共有し、適切な役割分担のもと、保健・医療・介護・福祉などの分野を超えて協働し、災害や感染症等の有事にも備えるなど、地域の実情に応じた地域包括ケアシステムを深化・推進します。

